

第9号

平成19年3月発行

# 岡山市連合町内会会報

題字：兼松久和

発行：岡山市連合町内会 〒700-8544 岡山市大供一丁目1-1 TEL:086-803-1031 FAX:086-803-1744 制作：岡山市連合町内会会報編集委員会



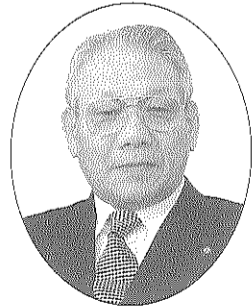
演題「道州制について」  
講師 岡山県知事石井正弘氏

演題「政令指定都市を目指して」  
講師 岡山市長高谷茂男氏

平成19年2月25日に開催された岡山市町内会長等懇談会

「岡山市連合町内会会報」  
第九号の発行に寄せて

岡山市連合町内会  
会長 兼松 久和



協力を賜り、深く感謝申し上げます。  
次第です。

これまでの主な成果を、全国自治会連合会、岡山県自治会連合会及び岡山市連合町内会のそれぞれにおいて検証したいと存じます。  
全国自治会連合会

早春の候、町内会の皆様におかれましては益々ご清栄の段、大慶至極に存じます。  
平素は、岡山市連合町内会の運営及び活動に多大なご支援とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、地方分権が進展し、住民自治組織の役割がますます大きくなる中、岡山市連合町内会は、自主的に包括的な住民自治組織として常に地域社会における市民生活の向上のため、市政との協力関係を積極的に築きながら岡山市の発展に寄与してきたところです。

①内閣総理大臣の任命により、中央防災会議専門委員として、災害被害を軽減する国民運動の推進に関する専門調査会において、防災活動を推進するための具体的な提言を取りまとめました。この専門調査会は、平成十七年十二月から平成十八年十二月までの間に計十四回開催されるといって大変ハードなスケジュールでした。  
当初、担当官庁である内閣府は、町内会・自治会等に対しての認識が希薄でしたが、防災活動に対する地縁団体の役割の重要性を再々に亘り説き、この度取りまとめた提言書の中で随所において町内会、自治会等の位置付けを明確にしました。

また、当会は、岡山県自治会連合会及び全国自治会連合会の中核をなしており、その活動は県自連、全自連の活動に連動するものであり、広域的視点に立った取組を行うに際して他の範たるにふさわしい品格の保持に努めなければならぬと考えております。

②NPO法人日本防災士機構評議員会においても、地縁団体との連携の重要性を強く訴えてまいりました。  
③社会福祉法人中央共同募金会に対し、実際に募金活動に携わっている町内会、自治会等の声が多分反映されるよう組織改革を行うことについての提言書を提出しました。

こうした理念のもと、当会では、平成十八年度に、計十三項目にわたる事業計画を、また、県自連及び全自連においてもそれぞれ事業計画を策定し、その実施に粉砕身取り組んでまいりました。

④総務大臣との懇談では、町内会、自治会等の役割の重要性を十分認識していただき、自治会等地域による団体功労者総務大臣表彰や藍綬褒章の適用にとどまらず、顕彰制度のさらなる充実を検討したいとお言葉をいただきました。

その結果、お陰をもちまして年度当初に掲げました事業計画は概ね実施し、大きな成果を挙げて終了することができました。関係各位には、事業の推進に対し、直接、間接とを問わず多大なご支援とご

⑤全国自治会連合会防府市制施

行七十周年記念防府大会を開催し、情報交換等会員相互の連携と交流を深めました。

### 岡山県自治会連合会

①岡山県知事から、犯罪のない安全・安心岡山県づくり検討委員会の委員として委嘱を受け、岡山県犯罪のない安全・安心まちづくり条例素案の取りまとめを行いました。

この検討委員会においても、当初、委員の間では、町内会、自治会等に対する認識が希薄でしたが、地縁団体の防犯活動に対する役割の重要性を説き、条例素案の中の町内会、自治会等の位置付けを明確にしました。

②平成二十一年に開催される第二十六回全国都市緑化おかやまフェア基本計画策定検討委員会への参画等により、緑豊かな潤いのあるまちづくりに協力しました。

③岡山県知事と定期的に懇談会を開催し、県政レベルの当面の課題等について意見交換を行いました。

④社団法人岡山県婦人協議会や岡山県愛育委員連合会と懇談会を開催する等各方面との情報交換を行いました。

岡山市連合町内会  
①初めての試みとして、岡山市町内会長等との連携や相互の資質の向上を図るため、町内会長等との懇談会を平成十九年二月二十五日に開催しました。今回は、岡山市連合町内会の活動紹介や岡山県知事と岡山市長を講師に迎えての講演などを行い、有意義な催しとなりました。

②産官学との交流・連携の一環としては、岡山商工会議所正副会頭等との懇談会を開催し、政令指定都市移行や安全・安心ネットワークへの取組について意見交換を行うとともに、岡山市長や岡山市幹部職員との懇談会を開催し、

市政の課題等について意見交換を行いました。さらに、各種審議会、協議会等の場において、大学教授等と情報交換を行いました。

③平成十七年の鳥取市自治連合会との姉妹交流提携調印に続き、平成十八年十二月十八日に姫路市連合自治会との姉妹交流提携調印を行いました。利他的な世相の中にあつて、池田光政侯の「えにし」により、温故知新の観点から三つの自治会連合会の姉妹交流提携が成り立ちました。誠に時宜を得たものであります。今後の具体的取組については、三組織において協議していくこととなりますが、こうした地域を超えた住民自治組織の取組が産官学の交流の起爆剤になれば幸甚に存じます。

④行政からの支援もあり、小学校区での安全・安心ネットワークづくりが盛んに行われました。地域におけるこうした活動は誠に時宜を得たものであり、今後更に取組を強化することが必要であると考へております。

⑤電子町内会の先進的取組が認められ、全国各地からの住民自治組織等の視察を受け入れたことで、岡山からの情報発信が行われました。

⑥行政が開催する各種審議会等に当会の担当役員が出席し、意見を述べるとともに、研鑽を積み、積極的に資質の向上を図りました。

以上のとおり、平成十八年度の事業は、担当役員の縦横減私の活躍と関係各位のご支援とご協力により、多大な成果を挙げることができました。当会としましては、来年度以降も、一層の組織の発展充実に努めるとともに、市民福祉の向上と安寧な地域社会の維持及び形成に寄与し、更なる飛躍を期したいと考えています。  
おわりに、町内会長各位のご健勝を祈念し、発刊に寄せる言葉といたします。

## 政令指定都市を 目指して

岡山市企画局  
政令指定都市推進課

一月二十二日に岡山市、建部町、瀬戸町が合併し、人口約七十万の新「岡山市」が誕生しました。二月十八日には岡山コンベンションセンターにおいて、合併記念式典を開催し、多数の来場者のもと一市二町の合併を盛大に祝うことができました。

岡山市連合町内会におかれましては、このたびの合併実現の大きな原動力となつていただき厚く感謝申し上げます。

この合併を契機として、政令指定都市岡山の実現に向けた取組を力強く進める時期に来ております。こうしたことから、本市では、

昨年岡山県との間で事務担当者レベルの研究会を発足させ、また、全庁的に政令指定都市移行準備に取り組み岡山市政令指定都市推進本部を設置し、政令指定都市移行に向けた具体的な取組を始めたところとす。

政令指定都市は、権限と財源を県から移譲され、市域のことは自己決定、自己責任で対応することができ、現行地方自治制度上最も自立した都市です。政令市に移行すると、県が行っている事務のうち、人づくり、福祉、道路行政など市民生活にかかわりの深い事務の多くを市の主体的な判断で直接処理できるように、市民ニーズに的確に対応した行政を進めることができます。  
本市としては、市民福祉の一層の向上と中四国の雄都というにふさわしいまちづくりを進めつつ、市民の皆様と力を合わせて政令指定都市岡山の早期実現に向け、取り組んでまいりますので、引

き続き力強いご支援をお願い申し上げます。

## 国民保護法について

岡山市総務局  
防災対策課

我が国を取り巻く安全保障環境については、冷戦終結後十有余年が経過し、我が国に対する本格的な侵略事態が発生する危険性は低下しているものの、大量破壊兵器や弾道ミサイルの拡散、国際テロ組織等の活動を含む新たな脅威や平和と安全に影響を与える多様な事態への対応が差し迫った課題となつております。

こうした状況も踏まえ、平成十六年九月、我が国に対する外部からの武力攻撃から、国民の生命、身体及び財産を保護することなどを目的とした国民保護法が施行されました。

市といたしましては、国民保護法に基づき、「岡山市国民保護計画」を策定したところであり、今後とも有事における危機管理体制の整備を図っていく所存でございます。

さて、万が一、我が国に対する外部からの武力攻撃やテロなどが起こった場合には、国は警報を発令して、皆様方に危険な状態になったことをお知らせすることになつております。そして、市は、情報の提供や避難の誘導、救援などの措置を行うこととしております。

その際には、テレビ、ラジオ、無線による放送及び広報車による広報等様々な情報伝達手段により、皆様方にお知らせいたしますので、町内会等への速やかな周知に努めていただくとともに、適切に避難ができるよう、迅速かつ冷静に対応されることをお願いいたします。  
武力攻撃などあつてはならない

ことでございますが、万が一における有事に対しても、市は、国及び県をはじめ関係機関と連携しながら体制の整備に努めてまいりますので、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 岡山市町内会長等 懇談会

岡山市連合町内会は、平成十九年二月二十五日に、岡山プラザホテルにおいて総勢約四百十名の町内会長等のご参加をいただき、岡山市町内会長等懇談会を開催しました。初めての試みであり、試行錯誤の中で計画を進めてまいりましたが、町内会長等の皆様方のご協力により何とか無事終了することができました。

第一部では、岡山市連合町内会の活動紹介をした後、岡山県知事と岡山市長を講師に迎え、道州制と政令指定都市について講演いただきました。

また、第二部では、食事を交えながら情報交換と親睦を図ることができました。

懇談会に出席された町内会長の方々からは、「普段は直接関わることの少ない岡山市連合町内会の活動状況等を知ることができ、岡山市の住民自治組織の一員としての岡山市連合町内会を支えていくことの重要性を認識した。また、市民生活の向上のために我々町内会が果たしていくべき責任を改めて感じた。」と政令指定都市移行や道州制の議論が本格化する中で、直接、県知事や市長から話を聞くことができ、大変勉強になった。このような情報提供の場を用意していただければ、町内会としても県政・市政にこれまで以上に協力しやすくなる。」等のご意見をいただきました。

## 姫路市連合自治会と 姉妹交流提携

平成十八年十二月十八日、岡山市連合町内会と姫路市連合自治会は、姫路市、岡山市を相互に訪問し、姉妹交流提携の調印式を行いました。

姫路市での会場となつた姫路市自治福祉会館では、石見利勝市長の立会いのもと、岡山市連合町内会から兼松会長ら三名、姫路市連合自治会から玉田副会長ら三名が出席し、兼松会長が提携書に自署、押印し、玉田副会長に手渡しました。

調印後、兼松会長は、「平成の大合併が一段落し、これからが本場の地方の時代。皆さんと意見交換をしながら、地域住民のニーズに的確に対応していきたい。」と抱負を述べました。その後、池田家ゆかりの地である正法寺と姫路城を訪ね、交流を深めました。

一方、岡山市での会場となつた岡山市役所では、高谷茂男岡山市長の立会いのもと、姫路市連合自治会から岩成会長ら二名、岡山市連合町内会から近藤副会長ら四名が出席し、岩成会長が提携書に自署、押印し、近藤副会長に手渡されました。  
調印後、岩成会長は、「池田侯の縁で調印でき感無量。今後、鳥取市自治連合会を含めた三つの自治組織で、より実りのある交流を進めていきたい。」と抱負を述べられました。





姫路市連合自治会と姉妹交流提携調印

した。また、池田家の墓所がある曹源寺、岡山城を訪ね、交流を深めました。

今回の調印により、池田家が藩主を勤めた岡山市、姫路市及び鳥取市の三つの住民自治組織すべての姉妹交流提携が成立しました。具体的な交流内容については今後の協議によりますが、提携書にもあるように住民自治組織の発展と住民福祉の向上及び三市の発展のため、さらに連携を強化し、友好を深めていきたいと考えておりますので、皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。

学区・地区の動き

活力ある元気な町づくりを目指して

大元学区連合町内会

会長 梶田 邦夫

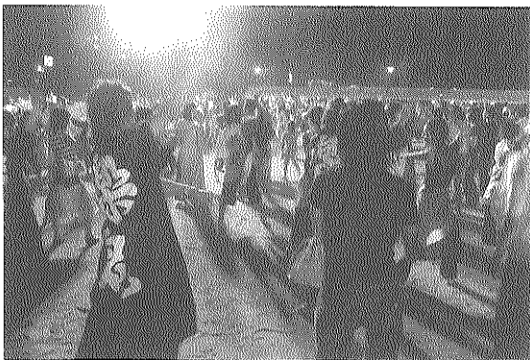
少子高齢化と人口減少が同時進行するという人口構造の中で、我が大元学区は若者を中心に転入者が多く、人口は増加し活力に満ちた町に発展しています。

その一方で、都市化が進むことは住民相互が疎遠になり地域の活力は失われてきますので、学区をあげて地域活性化事業に連町主導

で真剣に取り組んでいます。

一例を紹介しますと、恒例になった「サマーフェスタおおもと二〇〇六」を七月末の土曜日に開催し、多くの若者や家族連れで賑わいました。

この祭りは学区民総参加の手作りで、地域住民のふれあいと交流、憩いの場を提供することにあります。夕方から夜半までステージでは幼児から小中学生、各団体系有志による演奏、演劇、踊りなど、会場一杯に町内会や子供会、各団体から三十の夜店を出して観客動員に寄与しました。圧巻は総踊り、大合唱が会場に響き渡りパワフル全開でフィナーレとなり、観客数は延べ八千人は超える盛況ぶりでした。



多くの若者や家族連れで賑わったサマーフェスタおおもと2006

自慢すべきは手作りイベントで「みんなで創るみんなの集い」をテーマにして、費用対効果を考え他からの補助金、寄付金には一切頼らないで、自主財源確保のためバザー、物品販売など地域の協力を得たこと、更に会場全体のステージ、音響、照明など設営全て自前で調達して頂き、企画運営に携っていただいた実行委員の流す汗の結晶が成功につながっていると確信しています。

岡山市のモデル学区を

目指して

操明学区連合町内会  
会長 小川 晃一

岡山市操明学区は旭川東岸に位置し、東には百間川、南は児島湾に面し対岸には児島半島の山並みが見える、水に囲まれた地域です。

歴史を遡ると元禄五年(千六百九十二年)、当時の備前藩の英断により奉行の津田永忠が指揮をとり完成した干拓地です。工事は農閑期を利用して約六千人の農民の食料の扶持を考えたが僅か一年で外周の基本工事を完成させた先人の苦勞が偲ばれる地域です。

操明学区は平成八年に操南学区から分離し、誕生した学区で現在は約二千八百世帯近くになり今後増加の方向にあります。

さて、操明学区では、学区の特色並びに活動目標を「岡山市のモデル学区をめざして」として、さまざまな活動に取り組んでおりますが、そのうちの幾つかをご紹介します。

- ①岡山市モデル自主防災会  
平成十二年地球環境の変化(異常潮位、集中豪雨等)と地震(軟弱地盤等)対策の必要性を感じ自助・共助・公助の認識を周知し組織づくりに入り、今ではモデル地区として認めていただくようになりました。
- ②岡山市電子町内会  
平成十三年岡山市パソコン講習会を受講し、学区では小学校視聴覚教室を放課後お借りし学区に住まいの方が講師となってご努力いただいたお陰でネットワーク拡大が年々進んでいます。
- ③安全・安心ネットワーク  
ネットワークの構築に向け現在は、次のような取組を行っており、この活動もモデル地区を目指し皆さんと切磋琢磨し頑張っていく所存です。

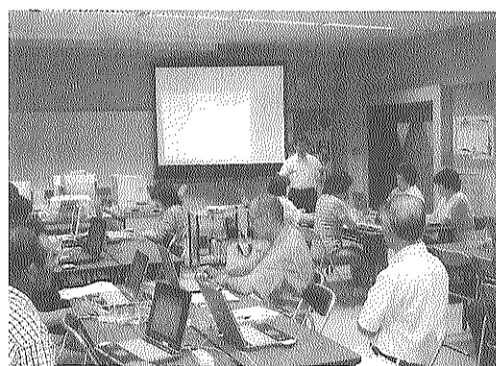
・青色回転灯装備車十四台の申請許可を得て、装備品もそろい自主的活動(昼夜別)に入っています。

今後は十六名の賛同者を得て二十名体制を推進すべく展開中です。

・子供を守る会(老人会有志)十七名の方が登下校中心に見守り、声かけ、お迎え、散歩、植木の手入れ等々の活動が定着しつつあります。

・緊急連絡網(パソコン、携帯電話)として一斉メール配信三百五十名の会員が、電子町内会に加入し活動を開始しました。新しいコミュニティ活動の幕開けです。

・親父の会(男性保護者)現役の方三十五名の団体が発足いたしました、主に夜間パトロールの取組です。



小学校の視聴覚教室での電子町内会構築に向けた講習会

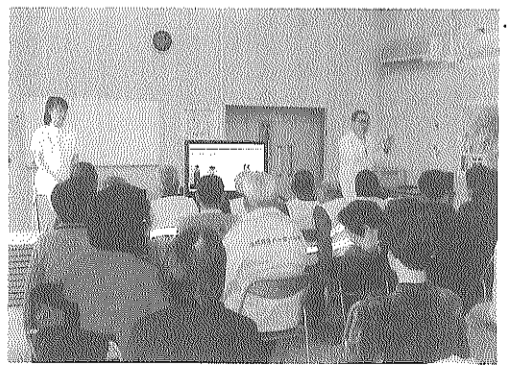
主な取組は以上でございますが、これらの活動を支えてくださっておりありがとうございます。深く感謝いたします。

安全・安心のネットワーク  
ふれあい活動について

古都学区連合町内会  
会長 横山 洋

古都学区は岡山市の東部に位置し、豊かな緑に囲まれた昔よりブドウの産地である。しかし近年、のどかな地域も住民の安全を脅かす事件が多発しており、岡山市の

条例制定を機に「古都学区安全・安心の街づくりの会」を設立した。



介護予防を目的とした古都市体操

会としては「安全・安心の街づくり」は、「ふれあいなくして防犯・防災は語れない」「地域の子どもは地域で守る」をスローガンに、通学時には、町内会、PTAが地区の要注意箇所立ち、違反者に対し言葉を交わし、子供たちの見守りを行なっている。住民相互が声を掛け合い、ふれあい、助け合うコミュニケーションが基礎になると考え、町内会・学校・各種団体が目的に向かい、それぞれの立場で主体的に取り組むとともに情報交換し合い、互いにサポートし合って地域住民一人ひとりが住む街を愛し、いかに安心して心地よく暮らすことが出来るか考え、行動することが大事と考えている。

主な活動としては、  
交通等のパトロール。防犯、防災の啓発活動。環境整備・美化活動。子供・高齢者・障害を持つ人々への見守り、登下校時の青色回転灯装備車による巡回。緊急連絡網の整備、防犯ベルの貸し出しなど。

講演会・チャリ・電子メール等による情報の伝達・健康教室(少子高齢化時代に介護予防を目的とした古都市体操や、元気で長生きをする話)

岡山市鉄公園開設

鉄地区にお寺の土地を貸してくださるので、住民から公園にとの声があり、希望を叶えるべく地区民が共に労働を提供し、木竹を伐採するなど整地して岡山市の支援を受け、平成十九年二月岡山市鉄公園として開設し、地区民から喜ばれている。

これらの活動の他にも、ブドウの里ふれあい祭り、歳末助け合い餅つき大会、地区の歴史を讀んだカルタ取り大会等様々な活動を通して、子供から高齢者までふれあいを深めている。

だが、共通理解の難しさ、的確な情報発信の時期、まだまだ住民の意識向上等課題も山積している。しかし、「心のふれあいを大切に」を合言葉に話し合い、町内会長がリーダーシップを発揮し、安心して暮らせる街づくりへと地区民が一丸となって一歩一歩進めていくよう努めている。

城東台学区の紹介

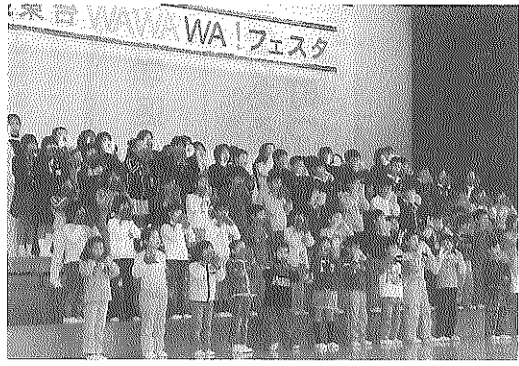
城東台学区連合町内会  
会長 吉田 勝則

城東台学区は、平成十二年四月に浮田学区より分離し、市内八十四番目の小学校区として発足した。

当学区連合町内会は、三つの町内会で構成され、千百余世帯・三千八百余の人口を有した歴史の浅い学区である。小学校は、平成十二年の開校と共に「開かれた学校づくり」のパイロット事業指定校となり、地域住民へも開放され学校・児童・保護者・地域住民相互間の交流に活かされている。

主な行事として、小学校と住民合同のふれあい運動会、WAWAWA(和・輪・話)フェスタでの各種発表会・作品展等が行われている。地域では、「城東台夏まつり」とおして子供たちの故

郷づくり・思いづくり・地域の交流を深める等を目標とする最大のイベントとして開催し、だんじり・こども御輿・こども太鼓・出店(食遊)・ステージ等で約二千人が集まり、大いに盛り上がった。



城東台WAWAWA!フェスタでの発表会

大國主命の舞では「福の種まき」をするにとしました。福の種まき用のお餅は栄養改善協議会が中心となり、連町及び協賛団体の役員などが手伝い、約十五キログラムの餅米から、蒸す、つく(機械により捏ねる)、丸めるの共同作業で作りました。

また、備中神楽用の舞台は、畳をリースすることとし、それを固定するための木の枠は、敬老会担当の役員などが中心となり、ホームセンターで木材を買いそろえて自作しました。

さて、敬老会当日です。昼食後の休憩時間が舞台設置の開始となります。体育館の舞台前に木枠を置いて、畳の設置、紅白幕の設置などを手の空いている人たちが慌ただしく行いました。

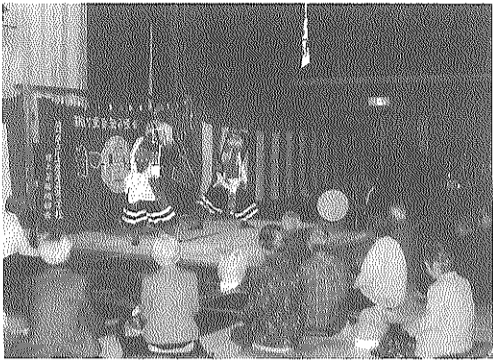
なお、紅白幕が垂れ下がらないよう、幕の途中で支える支柱も担当役員の自作でした。よく気がつくきますね。

会場の暗幕が閉められ、真っ暗な中、スポットライトの下で備中神楽が始まりました。

## 目玉は「備中神楽」

浦安学区連合町内会  
会長 永見勝

平成十八年十月二十九日に学区の第五十四回敬老会を民生委員児童委員協議会、愛育委員会及び栄養改善協議会の協賛を得て開催しました。今年の目玉は、高梁城南高等学校郷土芸能同好会の「備中神楽」でした。「猿田彦の舞」など五つの舞を演じてもらいましたが、



敬老会での備中神楽

槍を使つての戦い、鯛釣り、それから大蛇退治などが演じられましたが、やはり、大國主命の「福の種まき」は、「こつち」に投げて、「こつち、こつち」と、普段の体の重さも忘れて皆さん、おおいに盛り上

がりました。

また、「奇妙玉明神・室尾明神」が酒造りを手伝いながら、岡山弁丸出しで、先ほどのバスの中での会話など身近な出来事をあれこれと喋るのはわかりやすく、笑わせ頂きました。

かくして、好評の内に敬老会は終了しました。

## 第二藤田安全・安心 ネットワーク立上げ記念 コミュニティまつり開催

第二藤田安全・安心ネットワーク  
会長 遠藤 太郎

二藤安全・安心ネットワークを立上げ早々の十一月には記念イベントとして二藤コミュニティまつりを行った。そのため本年は会場を小学校に設営し、地区住民多数の参加で盛り上がった。

当日は、協賛参加してくれた南消防署のはしご車に、子ども達が体験乗車できると大喜びで、早朝から集まり搭乗抽選。体育館では小学校PTA保育園保護者会が主催した友愛バザーが大人気で行列が出来、会場整理で大変だった。

出店では綿菓子、ポン菓子、焼いも、そしてすしや赤飯はふるさとの味を懐かしむ親子連れで賑わった。最大の山場となった地産の新米による「もちつき大会」は、私や役員がお手本を示した。それ！よいしょ！と元気のよいかけ声は参加者全員が和し、高まり地域にこたえました。子ども達も、我もわれもと交代しながらもちつきに参加した。女の子も元気がよい。校長先生も率先して餅つきの輪に加わった。地域ネットワーク、信頼の絆が高まった。

また、校庭での消火器訓練や本年から義務付けられた火災報知機を設置を呼びかけながら、協賛参加の藤田防犯パトロールの青色回

転灯装備車の隊列は、町内パトロールにスタート。参加者は拍手で送り安全安心のまちづくりを誓った。

体育館で行ったバザーの一角では、愛育委員会や健康市民おかやま21メンバーによる健康チェックで、健康づくりの大切さをPR、「元気な地域づくり」をと呼びかけた。

ビンゴゲームでまつりも最高潮に達し、小学校金管バンドの演奏、藤田伝統の伝三郎太鼓は二藤の強さ開拓精神の心が一つになったひと時であった。

「真澄の空は晴れ渡っています。収穫の秋に感謝し、安全安心のまちづくりに願いを込めて本日の第二藤田コミュニティまつりが楽しい一日になるように」と小学校六年生による開会宣言で始まった本まつりは、地域の老若男女がふれあい、改めて安全・安心ネットワークの大切さを実感し心に響く有意義な一日となった。



コミュニティまつりでのもちつき大会

## 庄内学区連合町内会の活動について

庄内学区連合町内会  
会長 秋山卓一

庄内学区は、岡山市の西端に位置し、高松最上稲荷、高松城水攻めで有名な備中高松城址等があり

ます。岡山自動車道の総社インターチェンジも庄内学区の守備範囲であり、また、一つの学区では珍しいことにJR吉備線の備中高松駅と足守駅の二つの駅を持ち合わせた広い学区です。



青色防犯パトロールカーの出発式

庄内学区連合町内会では、「犯罪から児童を守る」「地域の安全を守る」を合い言葉に防犯に対する運動を進めてきました。現在、十三団体が活動中です。その組織を中心に昨年より始まりました安全・安心ネットワーク構築事業にも積極的に取り組み、七月に五十四の企業、団体の協力と参加を得て設立総会を開催いたしました。九月には警察の講習会を七十二名が受講し、三十八名の方から四十一台の車輛提供を頂き、警察本部長より青色回転灯装備防犯団体として証明書の交付を受けました。十二月六日に庄内小学校で、児童・地域住民等約九百名が参加し、「青色防犯パトロールカー」の出発式・記念式典を行いました。現在、班別に編成し、毎日活動中です。電子町内会の活用ですが、町内会活動についての広報、保育園・幼稚園・小学校とも連携し、学校活動情報等も掲載しています。また、高松稲荷町内会においては、防犯に効果があると言われている青色球に街灯百六十基すべてを取り替え

ました。夜間に一度高松稲荷周辺をご覧ください。光度は少し落ちますが、とてもきれいです。庄内学区は、岡山市の中でも超高齢化地域となっています。本年の取組みの一つとして、福祉関係にも今まで以上に力を入れていきたいと考えており、連合町内会が中心となり、一本の線が丸く円として繋がるような活動にしていきたいと思っています。

## 総合保健福祉施設建設の早期実現を願う

御津地域区長会  
会長 金光 照夫

合併から早や二年が経過しようとしていますが、この度、新市建設計画にある「総合保健福祉施設建設事業(金川病院併設)」の基本構想が示されました。

その内容については、旧町時代の計画を受け、施設の老朽化が進み、経営面においても課題を抱える金川病院について、地域住民の健康と生命を守るため新病院の建設、そして、健康づくり・介護予防などが受けられる施設、また、地域の子供たちの健全育成・子育て支援のための児童施設を備える、医療・保健・福祉の分野で相互に連携し合う総合保健福祉施設整備事業となっています。

さて、このことに関心のある中、また、見識を深めるため、本会が毎年実施している先進地視察として、昨年八月、北広島町豊平病院を、四十一名の地域区長が訪れました。豊平病院は、平成十四年四月に建設され、十七年二月の四町合併を経て、現在に至っていますが、隣接には保健福祉センターがあるといった、まさに私たちが願う施設となっています。しかし、合併による地域の拡大





岡山市灘崎町にある私達の町は、三百二十戸、約千人の小さい町です。平成四年に二百戸の団地が完成し、子どもさんが多くなり、町づくりの行事を拡大することにしました。この度は、八月の盆踊り、十月のみこし行列の活動を紹介いたします。

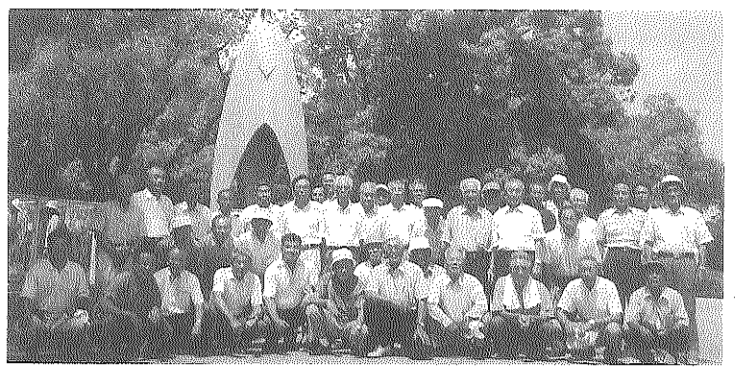
八月の盆踊りは、多くの人に参加してもらうため、曲目も大人用三曲、子ども用二曲とし、七月上旬より公会堂で練習します。保育

### 我が町の盆踊り、みこし行列

灘崎町区長会  
会長 古家野 巨

とともに、従来の一地域におけるサービス提供のとらえ方が、大きな地域で格差のないサービス提供に変わるため、従来とのギャップが生じ、少々混乱しているのととでして。

研修を終えて、少子・高齢化が進む御津地域に一日も早く、質の高いサービスが受けられる金川病院等総合保健福祉施設の建設を願っています。



平和公園での記念撮影



みこし行列後の記念撮影

園は二班、小学生は三班、一般は一班とし、それぞれ三回、一時間程度実施します。リーダーは、婦人会、民謡クラブの方が担当し、楽しいときを過ごします。

盆踊り当日は子ども会を中心にバザーを開きますが、毎年見事に完売です。踊りも練習の成果があり多くの方が参加します。休憩時にはジュースなども飲んで歓談します。踊り以外にも、櫓からの菓子投げや、最後は花火の打ち上げなどで楽しい一夜を過ごします。

次に、みこし行列ですが、神社で、みこしに神魂を入れ、町内の各家を巡回します。大人から小学生まで百人くらい、保育園は、小さいみこしを二十人くらいで、皆ハッピー、鉢巻で「ワッショイ、ワッショイ」の掛け声で町内を一巡します。巡回後は、菓子や弁当を食べながら談笑します。

以上二件の活動以外にも、老人クラブではふれあいサロン、婦人会ではトマト畑など毎月開催しています。また環境面でも、神社、寺、池などの草刈、清掃も実施し、春秋のクリーン作戦では、大人から子どもまで大勢

### 家族みんなで町を きれいにしよう

建部町区長協議会  
会長 池口 視善

私達の町は、岡山県のほぼ中央部に位置しています。

総人口約六千七百人、農業地帯で、米、野菜、ぶどうを栽培し、酪農家も点在した平和な地域であります。山林地には針葉、広葉樹が混在し、秋の紅葉は見物です。

町の中心部を清流旭川が流れ、交通面では、JR津山線が走り、国道五十三号と四百八十四号が交差し便利です。また、主なる施設を列挙すれば、町文化センター(温泉プール併設)、サンタケベ(研修施設)、町総合スポーツセンター、たけべの森公園など、町民の憩いの場として、また、癒しの場として多くの方が利用されており、自然に恵まれた地域です。

さて、当協議会は建部町環境衛生協議会と表裏の関係にあり、町内二十九区を包括しています。

私達は、自然環境に恵まれた町を「家族みんなできれいにしよう」を合言葉に、区長会をはじめ町内各組織、団体を挙げて昭和五十七年から「環境美化活動(クリーン作戦)」を展開しています。当初は年一回七月に実施していましたが、平成十三年から年二回(七月、十一月)に増やしました。十八年七月の環境美化運動に、千六百五十五名の方の参加を得、十一月で三十一回目を迎えました。

我が町は、平成十七年岡山国体「カヌー競技」会場に指定され、私等は全国から来町される選手並びに関係の方々に、良い環境の中で競技されることを期待し、「小さな親切運動」「花いっぱい運動」を推



環境美化活動(クリーン作戦)

進し、国体の成功へと協力をいたしました。

私等は、自分の住んでいる町を少しでもきれいに、気持ちよく生活が出来るように地道な活動に取り組んで行きたいと思えます。

### 瀬戸町の アユモドキについて

瀬戸町区長会二日市区  
区長 小林 一郎

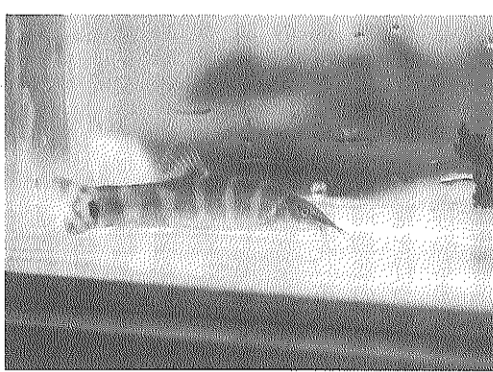
天然記念物に指定されているアユモドキは岡山の三大河川と琵琶湖淀川水系のみ生息する貴重な淡水魚です。昨年十一月にNHKの「ダーウィンが来た」の番組で全国放送されました。岡山市賞田地区での地元の方と岡山淡水魚研究会(自分は副会長です)との平成元年からの保護活動も紹介された大きな反響がありました。岡山が全国に誇れる天然記念物アユモドキの愛らしい姿が全国の約一千万人もの人々に印象づけられたことはとてもうれしいことです。

実は、アユモドキの最大の生息地は吉井川水系と考えられます。平成十四年に全国で初めてのアユモドキの自然産卵場所が発見されましたが時あたかも町道建設の計画が発表され、産卵場所の保護と町道建設とを調整するため「アユ

モドキ保全活用検討委員会」が町長・教育長・学識経験者・県文化課・国土交通省などの委員をもって組織されました。

この委員会による調査中に、平成十五年全国ではじめてアユモドキの産卵行動を阿部・柏・小林の三人が発見し記録できました。この年には岡山市賞田の休耕田での産卵をはるかに越える産卵が行われました。その後吉井川水系のあちこちでアユモドキが発見されています。

数百万年前、今の日本列島が大陸の一部だった頃淡水水の水系を伝って分布を広げ、日本列島になつてからもこの岡山の河川に生息し続けているアユモドキは、岡山市の宝、岡山県の宝です。身近かな自然を守り観察しふれあうことは心の豊かさそのものなのです。



国指定天然記念物のアユモドキ

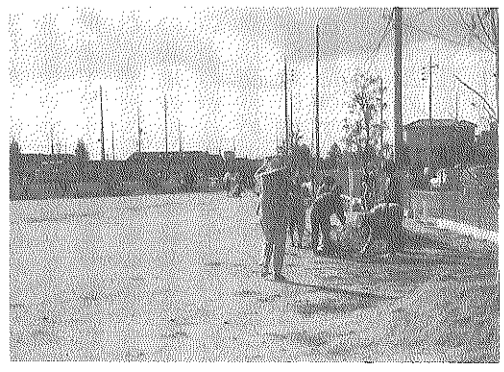
### 女性町内会長

### 西古松南本町町内会の歩み

大元学区西古松南本町町内会  
会長 福井 孝子

社会の変動が著しい今日、町内会の役割も次第に変化してまいりました。

発足当時の町内会は、親睦を旨とした僅か二十数戸の小さな町内会でしたが、区画整理事業の完成後は、アパート、マンション、公務員住宅が建設され現在では、二百三十世帯を上回る町内になり、周辺は、買物や交通の便が良くなつて居住環境の整った地域に変貌しました。



町内一斉清掃

平穏な町内会に突如として事件が発生したのが、平成三年の夏に起きた暴力団事務所の建設と云う晴天の霹靂とも言える事件でした。多くの方々にご理解、ご支援を頂き、あの事件が無事解決に至った経緯を今も忘れて居ることは出来ません。今も感謝の気持ちで一杯です。

あの時、町内会長に就任してから十六年になります。あれ以来、空地、空家の監視、情報の収集は常に心がけています。

町内会の主な活動としては、年二回の町内一斉清掃、夏祭り盆踊り大会と秋祭りは近隣の町内会とコミュニケーションをはかる上で平成四年から継続しています。

敬老会のお祝、子供会の支援等。防犯活動としては、パトロール隊員で通学路、空地、公園の監視。その他、住民の皆さんも買物、散歩の行き帰りに不審者の監視と情報収集に努めています。多様化

する犯罪をいかに防ぐことが出来るか、町内会のみならず地域あるいは、学区全体としての活動が顕著になっていきます。

「安全・安心ネットワーク」の要として、防犯、防災はもつとも重点をおいた活動項目と考えられています。地域の皆さんが、日々平穏な生活が送れる社会であつてほしいと願っています。

## 忘れられない 公会堂新築

加茂学区一軒屋町内会  
会長 垣本 恵美子

平成十七年四月、十二軒の小さな町内会ですが、初の女性町内会長を仰せつかりました。

会長の仕事は特別な問題がない限り、市の広報誌の回覧、数回の会長会議、清掃くらいなので軽い気持ちで引き受けました。

しかし、築後百年近い古い公会堂は、壁は崩れ、屋根は台風で傷み、通る人の頭をいつ直撃するかわかりません。これまで、何度も建て替えの話は出ましたが、その都度立ち消え、みんな気にならなから口に出す事が出来ませんでした。私は子ども達のためになんとか建て直したいと考え、思い切つてリフォームすることを提案してみました。けれど賛同は得られず、危険なため倒してしまうことになりました。

それでも、五月、六月と工務店回りをしました。やっと話を聞いてくれる所を見つけ、新築出来る可能性が出てきました。一気に完成に話を進め、各家の負担を少しでも減らそうと何回も何回も話し合いをしました。倒したり後片付けは町内総出でやりました。

十八年三月完成。四月には喜びのうちに落成式を迎えました。苦しいこともありましたが、市の援



新しく生まれ変わった一軒屋公会堂

助も受け、総出の作業は希薄になりがちな町内の結びつきを深めました。会長をさせてもらって本当によかったと感謝で一杯です。

## 視察研修報告

### 北海道

### 北海道町内会連合会について

岡山市連合町内会  
副会長 岡本 光男

常任理事会構成員等は、十月四日北海道町内会連合会を調査・研修のため訪問しました。

同連合会の前身は社会福祉組織として昭和三十五年度に発足、同五十四年度に現在の北海道町内会連合会が発足、現在百九組織、百六十六万世帯で構成されています。

特に今回調査の中心となった有限責任中間法人について、北海道町内会連合会は、昭和五十八年から、役員・会員が町内会活動中に事故が起きた場合に、助け合いとして制度化された「共済会」を運営しており、現在一万六千人の加入者があります。

平成十八年四月から保険業法が改正施行されたことに伴い、共済事業が少額保険業に該当し、連合会で取扱いできなくなることから、

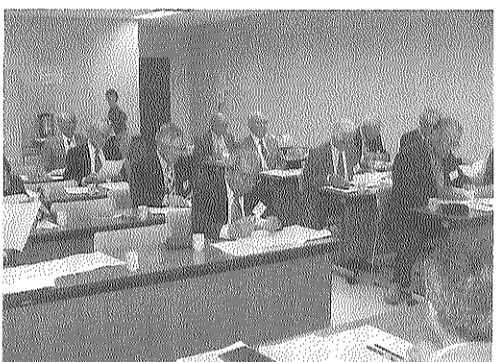
これを継続するために、同十八年三月有限責任中間法人という、私たちにちよつと馴染みのない法人格を取得しているのです。

この共済制度は、自然条件の厳しい北海道での町内会活動では事故などのリスクも高く、欠かせない制度のように感じられました。

そのほか連合会は、「ひとりの不幸も見逃さない住みよいまちづくり全道運動」と称し、社会福祉協議会、共同募金会の三者提唱により全道運動として平成二年度から展開。高齢化・小家族化の進む現代の住民自治組織の活動として大切な視点と感ずるとともに、連合会発足の原点に繋がっていると感ずりました。北海道町内会連合会の取り組みは、本市連合町内会にとつても、大いに参考になるものと思われまふ。

忙しい中、丁寧に対応してくださつた、北海道町内会連合会代表理事(会長職)、役員の方々に感謝申し上げます。

北海道町内会連合会での研修



北海道町内会連合会での研修

### 石原裕次郎記念館を訪ねて

岡山市連合町内会  
副会長 岩田 章

札幌での研修を終えてから小樽の裕次郎記念館を見学した。

小樽は、裕次郎が幼少の頃過ごした思い出多い土地であり、彼は



石原裕次郎記念館前での記念撮影

予ねてよりファンのために記念館を造る夢をもっていた。しかし、志半ばで天国へ旅立ってしまった。その遺志をまきこ夫人が受け継いでヨットマリーナの近くに記念館が設立された。

館内には、彼の出演映画百本余り、オリジナル曲約七百曲の紹介や、歩んできた芸能史が年表で展示解説され分かりやすかつた。

また、彼の愛用した遺品の数々が並べられ一際目をひいたのは赤いペンツだった。次に、映画や歌の大ヒットを物語る多くのトロフィーや盾は栄光を称えていたが、その裏には、過酷なスケジュールや撮影、怪我や大病に見舞われるなどの苦労が隠されている。内容のある映画製作のため独立プロを設立し「黒部の太陽」などの名画に心血を注いだ。そのことから五社協定が改革でき、日本映画史に大きな足跡を残した。

このように彼は、不屈の精神力、正義感が強い人であると感ずた。そして「映画はみんなで作るもの」という考えで出演者は勿論、裏方の人達にも仲間意識をもって付き合いみんなから慕われていたことを知り石原軍団が強い絆で結ばれていることがうなずけた。

しかし、五十二才の若さで帰らぬ人となったことは惜しまれてならない。かつて見たスクリーンの中のかっこいい裕次郎が懐かしく

よみがえり、若がえつた気持ちを抱きながら記念館を後にした。

### 佐世保市

### 佐世保市視察研修

岡山市連合町内会  
副会長 遠藤 太郎

平成十八年十一月六日、岡山市連合町内会会員五十名は、見識を高め、会員相互の交流を深めるために、長崎県佐世保市を訪ねました。

まず佐世保市連合町内連絡協議会を訪問し、活動状況等について意見交換を行い、我々の地域活動の参考となる話を聞かせていただきました。土地は違えど、活動を同じくするものとして、町内会への加入促進活動、安全・安心なまちづくりへの考え方、市からの文書等について町内会との委託契約により配布・回覧を行っている点など、興味深く拝聴しました。

次に海上自衛隊佐世保資料館を訪ねました。海軍の歴史や海上自衛隊のあゆみ等についてグラフィックや映像、模型等最新の技術と展示手法を駆使してわかり易く解説しており、展望ロビーから佐世保湾を眺めると、時代の流れを感じ、感無量でした。

また、国の文化財として指定されている水前寺成趣園を訪ねました。美しい湧き水、趣のある優美な庭園で、心が洗われる思いでした。



佐世保市連合町内連絡協議会での研修

翌日には熊本城を訪ねました。日本三名城のひとつに数えられる熊本城は壮大な雄姿を見せてくれます。身の引き締まるような思いで見つめました。折り返しも好天で、その日撮影した記念写真は、皆和気あいあいとし、青空に映えた熊本城を背景に、すばらしい思い出となりました。

この研修で学んだ事を今後の糧とし、以後いつそ地域のための活動に励みたいと思っております。

### 佐世保市視察研修日記

岡山市連合町内会  
常任理事 黒住 小弥太

平成十八年十一月六日、早朝天気にも恵まれ岡山駅を七時四十二分に立ち一路西へと向い昼までに佐世保市に到着しました。

晩秋の青空は澄みきつて、さすが日本列島の端へ来たなと感じました。街の印象はこじんまりとまとまって街の通りも清掃が良く出来て居り、自転車の不法駐車もなく整理され、米軍・海上自衛隊の基地の街として資金も潤沢なせいかわかりませんが市内での道路立体交差の工事が目につき、さすが基地の街であるとの感じを受けました。

次に佐世保市の概略を申し述べますと、人口は二十五万五千七百六十五人、世帯数は九万九千六百七十七世帯で町内会加入率は九一・六%で、組織数は五百六十四町内会です。

佐世保市連合町内連絡協議会との意見交換においては、米軍・海上自衛隊の基地がある中での安全・安心の確保についてや町内会の加入促進の方法について意見交換を行いました。佐世保市から、町内会の加入促進については、マンション等の建築が増える中、宅建協会会長



に入会申込書を渡すなどして町内会入会を依頼しています。また、米軍基地等がある中、アメリカでのテロがあつて以来、基地の警戒態勢は厳しくなつて...



熊本城前での記念撮影

以上をもちまして佐世保市連合町内連絡協議会との意見交換会は無事終了いたしました。我が連合町内会のもう一つの目的であり...

中央防災会議

「災害被害を軽減する国民運動の推進に関する専門調査会」答申における町内会の役割について

阪神大震災以降、国民の間で一段と自然災害への関心が高まる一方、新たに武力災害の発生が懸念される状況となつています。こうした中、災害発生時に被害を軽減...

被害を軽減するには、これまで防災に関心を持つてこなかった住民に対する意識改革を進め、身近な取組から始めることが必要です。そのためには、町内会活動の中で、家具の固定やガラスの飛散防止...

さらに、住民一人ひとりに対して防災活動や取組への参加を働きかけることのできる中心的人材の確保が必要であることから、町内会長など地域社会におけるリーダーの資質が問われることとなります。

町内会にとって、防災への自主的な活動は、地域を活性化する絶好の機会となることを認識し、「守る防災から攻める防災へ」と意識の転換を図るとともに、災害に対する取組を町内会の魅力の一要素として掲げること、防災に対す

る住民の意識が一層高まり、被害の軽減に役立つと考えます。

岡山市連合町内会の動き

- ◎定期総会 (平成十八年六月五日)
一 平成十七年度事業報告及び決算の承認
二 平成十八年度事業計画及び予算の承認
三 規約の改正について
岡山市の機構改革に伴う事務所の変更等による規約の改正を承認
四 役員の変更の承認
◎臨時総会 (平成十九年一月十日)
一 規約の改正について
副会長の定数の変更による規約の改正を承認
◎理事会
・第一回 規約等の改正について (平成十八年四月二十五日)
・第二回 定期総会について (平成十八年五月十一日)
・第三回 理事の改選について (平成十八年六月五日)
・第四回 平成十八年度事業実施計画について (平成十八年六月二十八日)
・第五回 副会長定数等検討委員会答申について (平成十八年九月八日)
・第六回 規約等の改正について (平成十八年十二月二十一日)
・第七回 町内会長等懇談会について (平成十九年二月十五日)
◎常任理事会
・第一回 規約等の改正について (平成十八年四月二十五日)
・第二回 定期総会について (平成十八年五月十一日)
・第三回 平成十八年度事業実施計画について (平成十八年六月二十八日)
・第四回 岡山市幹部との市政懇談会について (平成十八年八月二十九日)

談会について
(平成十八年八月二十九日)
・第五回 副会長定数等検討委員会答申について (平成十八年九月八日)
・第六回 規約等の改正について (平成十八年十二月二十一日)
・第七回 町内会長等懇談会について (平成十九年二月十五日)
◎常任理事会構成員等による視察研修 (平成十八年十月三日～五日)
常任理事会構成員等十五名が、北海道町内会連合会を訪問し、組織の法人化への取組など活動状況等について研修をしました。

- ◎視察研修 (平成十八年十一月六日～七日)
会員五十名が佐世保市連合町内連絡協議会を訪問し、住民自治の活動状況等について研修をしました。また、熊本市他を訪れ見識を深めました。
◎新春互礼会・市政報告会 (平成十九年一月十日)
メルパルクOKAYAMAにおいて高谷市長、花岡市議会議長、羽場副議長、天野助役、村手助役等と会員七十一名が出席し、兼松会長のあいさつの後、受賞報告、花束贈呈、市政報告等を行い、懇談をしました。
◎鳥取市自治連合会との姉妹交流提携 (平成十八年十月十二日)
鳥取市を訪れ、活動状況等について意見交換を行い、友好を深めました。
◎姫路市連合自治会との姉妹交流提携 (平成十八年十二月十八日)
姫路市連合自治会と当会の両会長が相互に訪問し、それぞれ、両市長立会いのもと姉妹交流提携調印式を行いました。
◎視察研修の受け入れ (平成十八年五月二十六日)
・兵庫県浜坂町連合自治会 (平成十八年五月二十六日)
・吹田市自治会連合協議会 (平成十八年十月十日)

・丸亀市連合自治会 (平成十八年十一月十三日)
・東大阪市自治協議会 (平成十八年十一月十七日)
・徳島市コミュニティ連絡協議会 (平成十八年十一月二十七日)
・大阪市淀川区地域振興会 (平成十九年二月十四日)
◎IT専門委員会の開催 (平成十八年五月十八日)
(平成十八年十月二十四日)
(平成十九年一月十二日)
◎市長と常任理事会構成員等との懇談会 (平成十八年四月二十七日)
◎市長と理事等との懇談会 (平成十八年七月十四日)
◎県知事との懇談会 (平成十八年八月二十三日)
・第5ブロック (平成十八年八月二十三日)
・第6ブロック (平成十九年一月三十日)
・備前県民局管内 (平成十八年九月四日)
◎常任理事会構成員等と岡山市幹部職員との市政懇談会 (平成十八年八月二十九日)
◎理事懇親会 (平成十八年十二月二十一日)
ピュアリティまきびにおいて、第六回理事会開催後、理事三十名が参加し懇親会を行いました。

- ◎商工会議所幹部との懇談会 (平成十八年六月三十日)
◎岡山市女性町内会長等との懇談会 (平成十八年十一月二十二日)
◎岡山市町内会長等懇談会 (平成十九年二月二十五日)
◎受賞報告 (平成十八年五月二十六日)
◇永年勤続町内会長知事表彰 (平成十八年五月二十六日)
・岡山市関係：十四名
◇岡山市連合町内会長表彰 (平成十八年六月五日)
・十人以上学区・地区連合町内会長の職にある方またはあった方：五名(表彰状)
・五年以上学区・地区連合町内会長の職にあり退任された方：三名(感謝状)
◇岡山市有功表彰 (平成十八年十一月三日)
・近藤正和氏 (芳泉学区連合町内会長)
・金田章夫氏 (御野学区宿三本松町内会長)
◇岡山市日新聞賞 (平成十八年十一月十五日)
・塩飽幹廣氏 (操南学区連合町内会長)
◇全国自治会連合会会長表彰 (平成十八年十一月十六日)
・紙名 一氏 (旭東学区連合町内会長)
・吉森 旭氏 (芳田学区連合町内会長)
・齊藤行義氏 (馬屋上学区連合町内会長)
◇自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰 (平成十八年十一月二十日)
・片山 晋氏 (鹿田学区連合町内会長)
・光田武夫氏 (元雄神学区連合町内会長)
◇永年勤続町内会長市長表彰 (平成十八年十二月五日)
・十五人以上学区・地区連合町内会長：二名(表彰状)
・二十年以上単位町内会長：九名(表彰状)
・五年以上退任単位町内会長：五十六名(感謝状)

- 〈常任理事会構成員の審議会等委嘱状況〉
○会長 兼松久和
・岡山市総合政策審議会
・岡山市政令指定都市推進協議会
・岡山市教育行政審議会
・岡山市交通安全対策協議会
・岡山市中央卸売市場開設運営協議会
・岡山市民生委員推薦会
・社会を明るくする運動岡山市実施委員会
・岡山市国民保護協議会

- ・岡山市不法投棄防止対策連絡協議会
- ・岡山市国際交流協議会
- ・岡山市観光協会
- ・岡山地域「持続可能な開発のための教育」推進協議会(岡山ESD推進協議会)
- ・岡山県自治会連合会
- ・小さな親切運動岡山県本部
- ・日韓首脳会談岡山誘致期成会
- ・全国都市緑化おかやまフェア基本計画策定検討委員会
- ・犯罪のない安全・安心岡山県づくり検討委員会

- ・岡山県青少年問題を考える行動する一〇〇人委員会
- ・岡山県消費生活懇談会
- ・中央防災会議「災害被害を軽減する国民運動の推進に関する専門調査会」
- ・NPO法人日本防災士機構評議員会
- 副会長 赤木實男
- ・岡山市社会福祉協議会
- ・岡山市社会教育委員会
- 副会長 近藤正和
- ・岡山市社会福祉協議会
- 副会長 藤原 浩
- ・岡山市青少年保護協議会
- 副会長 岡本光男
- ・岡山市国民健康保険運営協議会
- ・岡山市事業仕分け
- 副会長 岩田 章
- ・岡山県自治会連合会
- 副会長 遠藤太郎
- ・岡山市献血推進委員会
- ・岡山市子ども虐待防止ネットワーク協議会
- ・地域協働学校運営指導委員会
- 常任理事 片山 晋
- ・市民協働の人づくり条例検討委員会
- ・岡山市愛の泉基金運営委員会
- ・岡山県自治会連合会
- 常任理事 長瀬四郎
- ・岡山市明るい選挙推進協議会
- 常任理事 山本樹男
- ・岡山市明るい選挙推進協議会
- 常任理事 黒田智昭
- ・岡山市水道事業審議会
- ・百間川(旭川放水路)改修促進期成会
- 常任理事 横山 洋

### 岡山県自治会連合会の動き

- ・岡山市連合町内会IT専門委員会
- ・ケーブルテレビを活用した安全安心ネットワークのあり方に関する調査研究会
- 常任理事 黒住小弥太
- ・岡山県共同募金会岡山市支会
- ・岡山県自治会連合会

- 定期総会(平成十八年八月一日)
  - 岡山県役所において、役員十六名が出席のもと開催されました。
  - 一 平成十七年度事業報告
  - 二 平成十八年度事業計画及び予算の承認
  - 三 規約の改正の承認
  - 四 監事の選任の承認
  - 五 自治会等々地縁による団体功勞者総務大臣表彰及び全国自治会連合会表彰候補者の推薦
- 県知事との懇談会(平成十八年八月一日)
  - 岡山県愛育委員連合会との懇談会(平成十八年十月二十六日)
  - 全国自治会連合会防府市制施行七十周年記念防府大会への参加(平成十八年十一月十六日)
    - 山口県防府市の「防府市地域交流センター」において開催され、全国の三十一都道府県から約四百五十名が参加し、表彰式、講演会、情報交換等実り多い大会となりました。岡山県自治会連合会から、二十六名が参加しました。
  - 岡山県婦人協議会との懇談会(平成十八年十二月十五日)
  - 全国自治会連合会中四国地区連絡協議会(鳥取県鳥取市)(平成十九年二月二十二日)
    - 鳥取市の「ホープスター」として「において開催され、中四国六県から約三十名が参加し、情報交換等実り多い会議となりました。岡山県自治会連合会から、兼松久

- 和会長ら七名が参加しました。
- 加入促進活動の動き
  - ・四月 備前市自治会連絡協議会を黒住小弥太理事(会計)が訪問しました。
  - ・七月 岡山県市長会及び岡山県町村会を兼松久和会長と岩田章副会長が訪問し、加入促進活動への協力を依頼しました。
  - ・九月 矢掛町自治協議会連合会を片山晋理事が訪問しました。
- 受賞報告
  - 全国自治会連合会会長表彰(平成十八年十一月十六日)
    - ・受賞者 四名
    - ◇永年勤続町内会長・区長等岡山県知事表彰式(平成十八年五月二十六日)
      - 兼松久和会長が来賓として出席しました。
      - ・受賞者 十四名
    - ◇自治会等々地縁による団体功勞者総務大臣表彰(平成十八年十一月二十日)
      - ・受賞者 三名

### 全国自治会連合会の動き

- 理事会
  - 平成十八年六月(東京都)・九月(東京都)
  - 平成十八年度事業計画等を承認しました。
  - 常任理事会
    - 平成十八年四月(福島県)・六月(東京都)・八月(京都府)・九月(東京都)
  - 自治会等々地縁による団体功勞者総務大臣表彰選考委員会及び全国自治会連合会表彰選考委員会
    - 平成十八年八月二十二日(京都府)
    - 平成十八年九月二十八日(東京都)
  - 三重県自治会連合会定期総会(平成十八年七月七日)

- 兼松久和会長が来賓として出席しました。
- 菅義偉総務大臣との懇談会(平成十八年十月二十日)
  - 兼松久和会長他二名が菅義偉総務大臣と懇談しました。
- 社会福祉法人中央共同募金会を訪問(平成十八年十月二十日)
  - 兼松久和会長他二名が訪問し、中央共同募金会企画・推進委員会への参画について要望しました。
- 中央防災会議「災害被害を軽減する国民運動の推進に関する専門調査会」(東京都)
  - 平成十八年四月三日
  - 平成十八年五月二十二日
  - 平成十八年七月六日
  - 平成十八年九月十三日
  - 平成十八年九月二十七日
  - 平成十八年十月六日
  - 平成十八年十月三十日
  - 平成十八年十一月七日
  - 平成十八年十一月十日
  - 平成十八年十二月一日
  - 平成十八年十二月十三日

- 加入促進活動の動き
  - 兼松久和会長自ら、組織拡大のため、次のとおり訪問等を行いました。
  - ・四月 那覇市自治会長会連合会(沖縄県)、糸満市市長会(沖縄県)
  - ・五月 全国都道府県議会議長会、全国知事会
  - ・九月 岩手県自治組織協議会(岩手県)
  - ・十一月 八代市市政協力員協議会(熊本県)、霧島市自治公民館連絡協議会(鹿児島県)、十日町市地域協議会(新潟県)
  - ・三月 松江市町内会・自治会連合会(鳥根県)、浜田市連合自治協議会(鳥根県)
- 受賞報告
  - 藍綬褒章
    - 平成十八年春 五名
    - 平成十八年秋 三名

- 国務大臣防災担当及び国務大臣国家公安委員会委員長表彰(平成十八年六月二十七日)
  - ・受賞者 三名
  - ◇自治会等々地縁による団体功勞者総務大臣表彰式
    - 平成十八年十一月二十日(東京都)
    - 兼松久和会長が来賓として出席しました。
    - ・受賞者 三十六名

### お知らせ

平成十九年度定期総会  
平成十九年六月一日(金)  
場所 メルパルクOKAYAMA



平成十九年二月十六日午前九時五十分頃、岡山市桑野の田園に野生のタンチョウとナベヅルが飛来しました。二十分程えさを探していましたが、その後、児島湾の方向に飛び去りました。異種の鶴が同一行動をとるのも、岡山県に飛来するのも珍しいとのことでした。昨今の地球環境の変化の影響があるのでしょうか。



ナベヅル(左)とタンチョウ(右)

操南学区連合町内会  
会長 塩飽 幹廣

### 編集後記

これまでおやかま連町たよりとして発行してきました岡山市連合町内会の広報紙を、このたびから岡山市連合町内会会報とし、今までの経験をもとにレイアウトや配布方法などを一新し、第九号として発行しました。

その一 岡山市連合町内会の諸活動を市民の皆様により一層ご理解をいただくために、岡山市全町内会で回覧をしていただくるように一万七千部を印刷することになりました。

その二 平成十六年度の瀬崎町・御津町に続き今年度は瀬戸町・建部町が岡山市に合併となったことを踏まえ、岡山市全域にわたつての配慮をしました。

その三 女性町内会長の方々にも積極的にご寄稿いただきましました。また、年度末の二月二十五日開催の町内会長等の方々との懇談会も、会報発行に向けての厳しい日程の中ではありましたが、何とか掲載することができました。

この度発行の岡山市連合町内会会報が広報活動のより一層の充実を目指して、より多くの方々にご覧いただくことを期待し、寄稿その他会報の発行にご協力下さいました方々に心から感謝申し上げます。編集後記と致します。

編集委員長  
片山 晋

- 【編集委員】
- 岡本光男 片山 晋
  - 遠藤 太郎 横山 洋
  - 岩田 章 黒住小弥太